

2017年9月26日
東京商工会議所

第15回 勇気ある経営大賞 受賞企業決定

東京商工会議所（三村明夫会頭）は、第15回「勇気ある経営大賞」の受賞企業を以下のとおり決定しましたので、お知らせします。

本賞は、厳しい経営環境の中で勇気ある挑戦をしている中小企業またはグループを顕彰する事業です。過去に拘泥することなく、常識の打破に挑戦し、高い障壁に挑み、高い理想の追求を行うなど、“勇気ある挑戦”を表彰のポイントとしています。

今年度は、応募総数155社の中から5社が本賞に選ばれました（大賞1社、優秀賞2社、特別賞2社）。受賞企業に対しては賞金（大賞200万円、優秀賞50万円、特別賞30万円）と顕彰状、トロフィーが贈呈されます。また、総合的な観点から今後、大賞・優秀賞・特別賞を受賞することが期待される企業（11社）に、「奨励賞」を贈呈することも併せて決定しました。

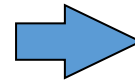
<<大賞>>

**熟練工の作業見える化と工期短縮を図るための
消音・消塵化への挑戦で、深刻な人手不足を克服**

株式会社丸高工業
（東京都品川区／建設業）



大きな騒音と粉塵が舞う従来工法
100dB（電車が通るガード下と同程度）



消音・消塵を可能にした新工法
65dB（普通の会話・チャイムと同程度）

<<優秀賞>>

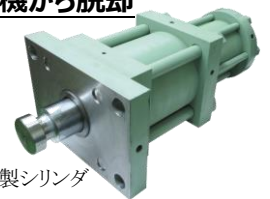
**「究極の資源循環」への挑戦で、
何度でも再生可能なペットボトルのリサイクル技術を確立**

協栄産業株式会社
（栃木県小山市／製造業）
※都内事業拠点：中央区
ペットボトルリサイクルのイメージ



**新事業展開と海外進出への挑戦で、
リーマンショックによる売上半減の危機から脱却**

株式会社南武
（神奈川県横浜市／製造業）
※都内事業拠点：大田区
国内トップシェアを誇る当社製シリンダ



<<特別賞>>

**付加価値の高い医薬品パッケージ印刷への挑戦で、
価格競争から脱却**

株式会社協進印刷
（東京都世田谷区
／製造業）

医薬品パッケージ



**マッシュルームの市場拡大と
農家への技術指導を通じた増産への挑戦で、業績拡大**

株式会社ワキュウトレーディング
（東京都町田市／卸売業）

スペインバル向けに
アヒージョ専用バックを提案



（本件問い合わせ先）東京商工会議所 中小企業部 山本・浦嶋・石村・西林 TEL:03-3283-7644

◆受賞企業紹介

《大 賞》

会社名 (本社所在地)	株式会社丸高工業		品川区 建設業	代表者	高木 一昌 氏
創業	1954年(昭和29年)	資本金	3,000万円	従業員	70名

表彰の
ポイント

熟練工の作業見える化と工期短縮を図る消音・消塵化への挑戦で、深刻な人手不足を克服

耐震補強工事・リニューアル工事(改修工事)、建物の耐震診断から耐震設計、施工管理までを全て自社一貫で行っている。

3Kによる人手不足、熟練工の育成の困難さ、現場管理者不足、土日夜間工事によるコスト上昇と工期長期化など建設業界が抱える課題を解決すべく、2006年より、熟練工不足を補うための「熟練工の作業見える化」と工期短縮を図るための「消音・消塵化」に挑戦した。

◆女性や若手でも熟練工と同じレベルの作業を担うことができないか

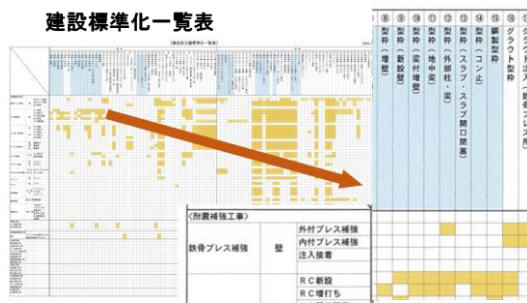
熟練工の作業を見える化するため、約800もの作業工程を動作の段階から研究分析。作業手順や材料、工具を変えたり、時には新工具を開発し、熟練工と同程度の高いレベルで作業が出来るよう何度も改善を図り、標準手順書を完成させた。この手順書を活用し、経験の浅い女性や若手でも熟練工と同レベルの品質と安全を確保できる体制を構築。3Kのイメージを払拭したことから、自社採用にも好影響を与えている。

◆消音・消塵化する工法により工期を短縮

騒音・粉塵により休日・夜間作業を強いられ、工期延長と担い手不足を招いていた従来の改修工事の常識を打破すべく、騒音発生源を研究。工具機械製作のノウハウがないなか、協力会社をみつけ、消音・消塵化する工具(工法)開発に挑戦。従来、モルタル撤去作業において、100dB(電車の通る際のガード下と同程度)の騒音で、大量の粉塵が発生していたが、新工法では、鉄板のような刃をすべり込ませて剥がし、モルタルを床に落とさずに回収するため騒音を65dB(普通の会話・チャイムと同程度)まで低減させ、消塵にも寄与。隣室に利用者のいるホテルや病院でも作業可能となり、工期を30~50%短縮させることに成功した。



代表取締役社長 高木一昌 氏



約800もの作業工程を分析することで熟練作業の見える化に成功



【従来工法】

ハンマードリルによりモルタルを撤去するため、大きな騒音・振動と、モルタルが床に落ちる際に粉塵が舞う。(100dB)



【新工法】

鉄板のような刃をすべり込ませて剥がし、モルタルを床に落とさずに回収するため騒音低減、消塵にも寄与。(65dB)

《優秀賞》

会社名 (本社所在地)	協栄産業株式会社		小山市・製造業 ※都内:中央区	代表者	古澤 栄一 氏
創業	1985年(昭和60年)	資本金	1,000万円	従業員	114名
表彰の ポイント	<p>「究極の資源循環」への挑戦で、何度でも再生可能なペットボトルのリサイクル技術を確立</p> <p>「次世代に地球の限りある資源を残す」を理念にペットボトルリサイクルを手掛ける。1994年以降、ペットボトル飲料が爆発的に増加。リサイクル処理能力が追い付かず、ゴミとして溢れる懸念があった。加えて、リサイクル原料はプラスチック製品の加工原料の増量材としての用途しかなく、1度しかリサイクルできなかった。</p> <p>◆ペットボトルを何度でもリサイクルできないか</p> <p>将来にわたって資源を循環させるため「再びペットボトルに戻す技術が必要不可欠」と決意。使用済みペットボトルを新たなペットボトルに再生させる「ボトル to ボトル」の実現に取り組んだ。</p> <p>実現のためには当時の年商を上回る巨額な建設費が必要な新たなリサイクル処理プラントの建設が必要だった。金融機関の反対に加え、工場予定地の住民からも猛反対にあったがペットボトルリサイクルの必要性、成長性、将来性を訴え、銀行の融資を取り付け、住民には「ペットボトルという地上資源を使ってモノづくりを行う。新しい産業を地域に根付かせたい」と説得して、2001年竣工にこぎつけた。</p> <p>プラントによる実証実験を繰り返し、何度でもペットボトルの再生を可能にする技術を日本で初めて確立。飲料メーカーによる厳しい品質検査をクリアし、11年にボトル to ボトルの商品化を実現した。現在では、年間15億本以上の飲料ボトルへリサイクルしている。</p>				



代表取締役社長 古澤栄一 氏



01年に竣工したリサイクルプラント



ペットボトルリサイクルのイメージ



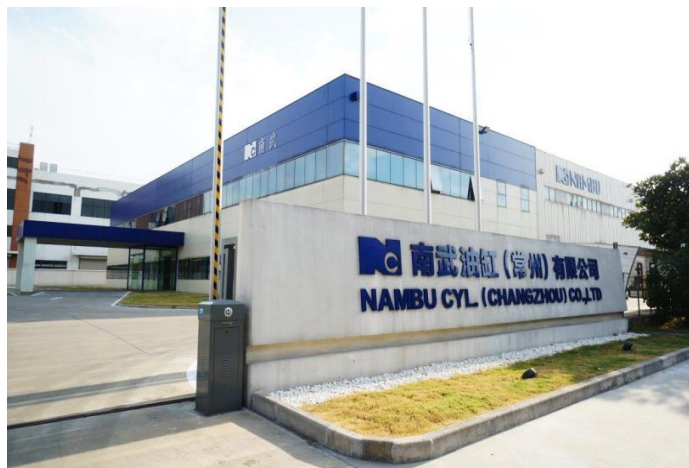
当社がリサイクルしたペットボトル製品

《優秀賞》

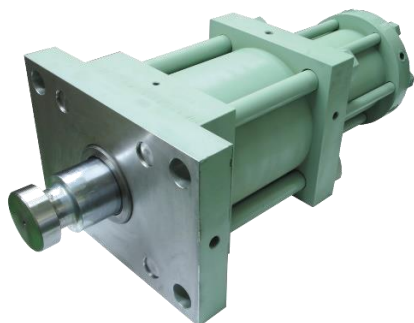
会社名 (本社所在地)	株式会社南武		横浜市・製造業 ※都内:大田区	代表者	野村 伯英 氏
創業	1941年(昭和16年)	資本金	5,800万円	従業員	119名
表彰の ポイント	新事業展開と海外進出への挑戦で、リーマンショックによる売上半減の危機から脱却				
	<p>エンジン等の casting 用金型の中子抜き油圧シリンダや製鉄所の圧延ライン等で使われるロータリージョイントを手がける。リーマンショックにより売上が半減。この危機に際し、製品リユースという新サービスの展開と、赤字に陥りながらも成長が見込める中国への工場建設と市場参入により乗り切った。</p> <p>◆顧客流出を止める リーマンショック後、取引先では予算減少により、使用済みのシリンダを買い替えせず、そのまま使いまわされるようになった。取引先のこの変化に着目し、シリンダ損傷部品のみを交換することで、取引先に安心して自社製品を使い続けてもらえる新事業を検討した。「新規の受注減につながる」との社内からの反対を、「他社がやらないことこそやるべき」と説得。更新金型分(再利用)も含めたトータルコストでのメリットを訴求することで、リーマンショック後に離れた顧客を取り戻すと同時に新規顧客を獲得、シェアの維持・拡大に成功した。</p> <p>◆コストと納期面で海外のライバルに勝つためには 中国の取引先に対しては国内から輸出を行っていたが、コストと納期面で他社に市場を取られてしまうのは時間の問題だった。赤字で資金がない中、中国市場の成長性に賭けて現地子会社の設立を決断。重要部品のパッキン等は本社から供給し、高品質を維持することで売り込みに成功。早期に黒字化を達成し、本社の収益に多大な貢献をするとともに、中国に進出している国内企業との取引も増加した。</p>				



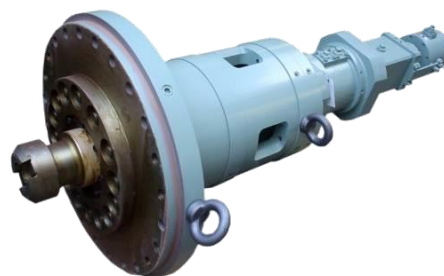
代表取締役 野村伯英 氏



中国現地法人の工場



主に自動車業界向けに(国内シェア7~8割)を占める金型用中子抜きシリンダ



主に重工業・製鉄メーカー向けにアジア・北米の市場シェア7割を占めるロータリージョイント・ロータリシリンダ

《特別賞》

会社名 (本社所在地)	株式会社協進印刷		世田谷区・製造業	代表者	稲川 景一 氏
創業	1951年(昭和26年)	資本金	7,200万円	従業員	76名

付加価値の高い医薬品パッケージ印刷への挑戦で、価格競争から脱却

創業65年の歴史を持ち、医薬品・食品向けの紙製商品パッケージの企画・デザイン・製造まで一貫して手掛けている。1990年代から取引先の海外進出や印刷技術のデジタル化など、事業環境が激変。状況を打開するため医薬品パッケージ分野への進出を決断した。

◆国内で生き残るために

80年代までは贈答品向け化粧箱を主力としていたが、89年以降、受注の減少により経営危機に陥った。一度は海外進出を目指したが失敗し、大きな損失を被った。

国内での生き残りをかけ、付加価値の高い医薬品パッケージ分野への進出を決断。当時、過去の需要増に対応するため、工場は3カ所に拡大。非効率な生産体制に陥っていた。医薬品パッケージに対応した工場を建設するために工場を稼働しながら1カ所に集約化を検討。巨額投資に対応するため、約10年の歳月をかけ投資を3回に分散し統合。その後も投資を続けることで医薬品業界並みの高い衛生管理体制と先端設備を持つ生産体制を実現した。

同時に価格競争を避け付加価値の高い体質への転換を図るため、医薬品パッケージの設計を行う企画制作室を新設。他社に先駆けて医薬品メーカーと共同開発を行った。医薬品開封時に指や内容物を傷つけず、軽い力で解体できるパッケージなど独自製品を開発し、営業スタイルも提案型へ転換した。医薬品分野の売上構成比を11年から16年にかけて3倍に増やした。

表彰の ポイント



取締役社長 稲川景一 氏



高い衛生管理体制と先端設備を持つ工場



80年代まで主力だった中元・歳暮等の贈答品パッケージ



現在主力となった医薬品パッケージ

《特別賞》

会社名 (本社所在地)	株式会社ワキュトレディング	町田市・卸売業	代表者	高橋 和久 氏	
創業	1995年(平成7年)	資本金	1,000万円	従業員	8名

マッシュルームの市場拡大と農家への技術指導を通じた増産への挑戦で、業績拡大

食品輸入会社勤務時代にカナダ産のマッシュルームの美味しさに感動し、マッシュルーム専門商社を設立。展示会やスーパーの店頭に立ち、試食販売などを通じて市場拡大に取り組むとともに、農家への技術指導を通じて品質向上、生産量増大に挑戦した。

◆マッシュルームの美味しさを多くの人に届けたい

堆肥に馬糞を使うことから、「日本でマッシュルームは絶対に売れない」と言われた。「マッシュルームのおいしさを伝えるのは自分しかいない」と決意。自らスーパーで試食販売に立ち、多い時は1日 800 パック売れ、大手からも声がかかるまでになった。さらに、レストランへメニューを提案。01年から06年の間に年商を約 2.5 倍に成長させた。

◆マッシュルームが足りない

スーパーで売上を伸ばしたものの、生産が追い付かない状況に陥った。状況を打破すべく7年かけて欧州のマッシュルーム農場を視察研究。「日本はマッシュルーム先進国のオランダから20年の遅れを取っている」と危機感を感じ、オランダから最新の栽培設備を輸入し、生産農家への技術指導を始めた。最初は農家から「胡散臭い」と断られ続けたが、賛同してくれる生産者に出会い、生産量を増やしていった。生産者の利益を優先に考え、需給による価格変動が一般的だが、年間を通じて一定の価格で買い取ることで安定的な商品確保を実現した。

表彰の
ポイント



代表取締役社長 高橋和久 氏



スペインバル向け
にアヒージョ専用
パックを提案



展示会場に立つ代表



当社が手掛ける
大型マッシュルーム
「ギガマッシュ」

《奨励賞》

会社名 (本社所在地)	イービーエム株式会社	大田区・製造業	代表者	朴 栄光 氏
事業概要	手術訓練シミュレータ、医療用画像ワークステーションの製造			
表彰ポイント	大学発ものづくりベンチャーとして心臓外科手術訓練シミュレータ事業化への挑戦			

会社名 (本社所在地)	FSX 株式会社	国立市・サービス業	代表者	藤波 克之 氏
事業概要	おしぼりの企画開発・製造・販売、おしぼり関連資材の企画開発・販売			
表彰ポイント	業界の常識を打破する高付加価値おしぼりの開発と働き方改革への挑戦			

会社名 (本社所在地)	FS テクニカル株式会社	葛飾区・製造業	代表者	藤田 正吾 氏
事業概要	ビル外壁の改修技術メーカー			
表彰ポイント	施工後の剥離防止に優れ、かつ低騒音、低振動、無粉塵の工法開発への挑戦			

会社名 (本社所在地)	株式会社関越物産	豊島区・製造業	代表者	白井 宏一 氏
事業概要	「こんにやく」「ところてん」などを手がける食品メーカー			
表彰ポイント	「こんにやく」の常識を打破し、“あく”と“におい”をとる超音波洗浄処理法開発への挑戦			

会社名 (本社所在地)	株式会社今野製作所	足立区・製造業	代表者	今野 浩好 氏
事業概要	油圧機器製造、金属板金加工、環境・福祉機器製品開発			
表彰ポイント	リーマンショック後の業績回復を目指した人材育成・業務改善・IT化への挑戦			

会社名 (本社所在地)	株式会社鹿浜製作所	足立区・製造業	代表者	鹿浜 茂 氏
事業概要	金属切削加工および巻き爪矯正具の製造・販売			
表彰ポイント	既存取引の減少を機に下請け脱却・自社商品の開発販売への挑戦			

会社名 (本社所在地)	株式会社玉川繊維工業所	世田谷区・サービス業	代表者	關口 雅章 氏
事業概要	ホテルなどのシーツ・カバーをはじめとするリネンサプライ業			
表彰ポイント	創業100周年に向け、「愉快的な生活の創造と果敢な挑戦」を経営理念に BtoC 分野に挑戦			

会社名 (本社所在地)	日本工業刃物株式会社	台東区・製造業	代表者	青木 義昇 氏
事業概要	工業用刃物製造販売			
表彰ポイント	自社一貫生産体制構築への挑戦			

会社名 (本社所在地)	株式会社ポポンデッタ	千代田区・小売業	代表者	太田 和伸 氏
事業概要	鉄道模型及び鉄道グッズ製造・販売、鉄道ジオラマ併設飲食店運営			
表彰ポイント	業界常識を打破する鉄道マニア以外への市場開拓と新業態への挑戦			

会社名 (本社所在地)	丸和繊維工業株式会社	墨田区・製造業	代表者	深澤 隆夫 氏
事業概要	アパレル製品(カットソー)の製造			
表彰ポイント	宇宙飛行士の船内普段着の開発・採択と、「下請け体質脱却」への挑戦			

会社名 (本社所在地)	三益工業株式会社	大田区・製造業	代表者	中西 忠輔 氏
事業概要	航空宇宙・鉄道車両・発電機器部品の精密機械加工、熱処理、組み立て・修理			
表彰ポイント	技術習得、人材育成に注力し、高い技術力を有する「妥協なきものづくり」への挑戦			